

カイヤドリウミグモについてのお知らせ

東京湾(木更津地区)で発生が確認されました「カイヤドリウミグモ」は現在も生息しております。

カイヤドリウミグモとは、アサリやマテ貝やシオフキ貝などの 2 枚貝に寄生し、その体液を主食とする節足動物です。詳しい生態は現在研究機関にて研究中です。

また当組合では、千葉県水産研究センターが実施する毎月 2 回の県一斉調査におきまして、潮干狩場からも採取し検査して頂いております。

(※調査には顕微鏡を使用しております。)

アサリにつきましては、千葉県水産研究センター及び木更津市潮干狩協議会それぞれの調査におきまして、検査機関より人体に影響はないとの検査結果を頂いております。

(実際に漁協職員も試食しており問題はありませんでした。)

久津間漁業協同組合
代表理事組合長 江尻 澄